

ネオコン・シオニスト陰謀団が米政府をハイジャック——

再び！

すべてはヤラセだった！ フェイクニュースだった！ がその影響はきわめて深刻だ！
第3次大戦？

【訳者注】これが書かれて数日後、予想された通り、アメリカはシリアにミサイルを発射し始めた。新聞には「トランプ大統領が」と書かれているが、それは表向きであり、実際は、結論に書かれているように、「すべての武力衝突の背後にある“第一原動者”（prime mover、普通、神を指す言葉）は、ネオコン・シオニスト陰謀団である。」この主流メディアの言わないこと、言えないこと、なぜ言わないのか、言えないのかの理由が、我々の最も聞きたいことである。これを言ってくれなければ、我々は何を聞いたことにもならない。

SOTN (State of the Nation)

April 11, 2018



トランプがニセ旗のウソに基づいて、この国を不法な戦争に導こうとしている。

4月が深まるとともに、中東戦争が、ネオコン・シオニスト戦争屋によって計画されていたことが、ますます明らかになってきた。ネオコン戦争屋どもが、世界を戦争に突き落とそうと決意していた。 <http://stateofthenation2012.com/?p=97944>

“狂気の3月”から“侵略の4月”にかけて、あらゆる大きな世界の出来事が、有無をいわず、アメリカをシリアとの戦争に追い込むように仕掛けられていた。その批判的な背景の情報と、それに関連する歴史について、次の報告をご覧ください。

今年の“3月狂気”は“4月侵略”のお膳立てとして仕組まれたものだったのか？

<http://themillenniumreport.com/2018/04/target-iran-the-neocon-zionist-plan-for-an-apocalyptic-war-in-the-mideast/>

何が再び、この戦争への行進を、本気で駆り立てているのかを理解する、最上の方法は、遡ること2007年10月に、アメリカを警告した4つ星将軍、Wesley Clark の話を聞くことである。「**ウェズリー・クラーク元帥：アメリカは、5年間に7か国を攻撃するだろう**（ビデオ）」<http://stateofthenation2012.com/?p=31763>

クラーク元帥が言っていたのは、9・11 内部犯行を、直接行った同じネオコン戦争屋のことだった。彼らがやったのは、9・11 の他に、アフガニスタン、イラク、リビア、レバノン、ソマリア、スーダン、チャド、ウクライナなど、地球全体の、いくつかの戦争である。

これらネオコン・シオニスト戦争屋とは、いったい、どんな連中なのか、次にあげよう――

シオニスト、**ジョン・ボルトン**、
ネオコン強硬派、**マイク・ポンペオ**
CIA 拷問クイーン、**ジーナ・ハスペル**
そして、多くの強制された（悲惨な）、トランプに任命された者たち
西側の邪悪な魔女、**ニッキ・ヘイリー**は、中でも最悪
誰が彼女を、国連米大使に選んだのか？ まさにスラエルだ ――Q2 情報

ドナルド・トランプ大統領

アメリカ大統領が乗っ取られたのは間違いない。ネオコン・シオニストたちが、トランプの就任以来、戦争を行うのに必要な鍵的なポジションを、密かに奪ってきた。

生粋のネオコン、ジョン・ボルトンが、国家安全保障アドバイザーに指名されたとき、戦争はいまや既成事実となった。参考：「**ボルトンの任命は、トランプがゆずられているこ**

とを証明する！」 <http://stateofthenation2012.com/?p=97577>

2018年1月以来の、大統領の政治的生命は、客観的にどのように評価しても、そこに、彼を順応の檻の中に閉じ込める、急速に露わになっていく隠れた計画があることを、明らかにしている。その目的は、まずシリアに、次にイランに戦争を仕掛けることである。「**イランを狙え：ネオコン・シオニストの、中東における終末戦争計画**」

<http://themillenniumreport.com/2018/04/target-iran-the-neocon-zionist-plan-for-an-apocalyptic-war-in-the-mideast/>

次の論文は、トランプが、シリアに宣戦を布告する鉄面皮の計画の、中心的犠牲者であるか、それとも、意欲的な陰謀協力者であるかを証明する、詳しい回顧的評価を提供している。

「**リアルタイムで起こっている、米大統領のあからさまな強制**」

<http://stateofthenation2012.com/?p=97854>

キーポイント：トランプ大統領が、シリアのドゥーマで起こった、ヤラセとされる、ニセ旗化学攻撃のことを、十分に知らないとは考えられない。確かな証拠はまだ、調査も実証もされてはいないが、すべての状況証拠は、明らかに、高度に進んだニセ旗作戦が、例のすべての容疑者たち——CIA、MI6、MOSSAD——によって実行されたことを示している。

いずれにせよ、今、トランプは、イスラエルのために、冷酷な戦争犯罪者になることに、完全に合意したように見える。「**戦争犯罪：トランプはニセ旗化学攻撃を理由として、不法に、シリアを爆撃する約束をした**」<http://themillenniumreport.com/2018/04/war-crime-trump-vows-to-unlawfully-bomb-syria-because-of-false-flag-chemical-attack/>

ドゥーマ

最大に重要なことは、ドゥーマの、見え透いたニセ旗化学攻撃は、起こったと言われているに過ぎないことである。この化学攻撃は実は、200マイル離れた所で、偽物が撮影されたものと主張する人々からさえ、証言が求められている。「**ドゥーマのニセ旗化学攻撃は、200マイル離れたイディブでヤラセたものか？**」

<http://themillenniumreport.com/2018/04/was-the-douma-false-flag-chemical-attack-actually-staged-200-miles-away-in-idlib/>

この時点で、このような毒ガス攻撃が、2018年4月7日に、ドゥーマで起こったのかどうかさえ、具体的な証拠はないのである。この事件について、主流メディアには沢山のフェイクニュース報告があるが、一片の傍証さえ、これまでに提出されていない。

キーポイント：もしグローバリストが、白昼、アメリカのどこでも、ニセ旗集団銃撃や爆撃を、ヤラせることができるのなら、彼らが、シリアのような戦闘地帯でそれを実行することが、いかに簡単なことか考えてみていただきたい。

「いったい誰が得をするの？」ということを考える限り、このような馬鹿げたニセ旗作戦によって利益を得る者は、イスラエルしかいないことは明らかである。バシヤール・アル・アサド大統領は、自国民を毒ガスで殺す手段も、理由も持っていない。またロシアもイランも、そんな攻撃を支持するはずはない。

しかし、世界の国家共同体を、堂々と騙すことによって、最も利益を得るのは、ネオコン・シオニストであろう。この同じ悪役たちが、アメリカの軍・産複合企業に深く根を下ろしている。だから彼らは、財政的にも、かなりそこから得るものがあるだろう。「**ドゥーマのニセ旗毒ガス攻撃が演じられたのは、ネオコンのシリア侵略を正当化するため**」

<http://themillenniumreport.com/2018/04/false-flag-chemical-attack-in-douma-staged-so-neocons-can-justify-invasion-of-syria/>

拡大イスラエル計画

トランプ政権内部のネオコン・シオニストが、「拡大イスラエル」を確立しようとする、大事な賭けに出ているのは間違いない。「**拡大イスラエル：シオニストの中東計画**」

<http://themillenniumreport.com/2015/12/greater-israel-the-zionist-plan-for-the-middle-east/>

アメリカ大統領にとって全く不幸なことは、彼が、彼らに選ばれた責任者だということである。アメリカの政治体制と軍事リーダーシップだけが、拡大イスラエルを創るのに十分な、中東を破壊する軍事力や権力、手段や意志を持っている。

これが、トランプが、権力エリートに選ばれた、本当の理由なのだろうか？ 彼らはイスラエルに本部を置く **One World Government** に、しがみついているのだ。

「ストラトフォー（情報シンクタンク）チーフが、世界制覇のための、シオニズム - アングロ・アメリカン計画を明かす」 <http://stateofthenation2012.com/?p=22223>



戦争屋どもにとって、レバント地域全体を征服すること以上に、重要なことはない。北レバントの土着の人々を、彼らの父祖の地から追い出すことが、最初のイラク戦争以来の優先課題であった。シリア戦争は、この地域の他の仕組まれた武力衝突とともに、この高度に統制された戦略を例証するものである。「**シリア戦争のウソと拡大イスラエル計画**」

<http://themillenniumreport.com/2018/04/syrian-war-lies-and-the-greater-israel-project/>

9・11 ニセ旗テロ攻撃は、この同じ犯行者たちを大胆にさせ、彼らはますます多くの土地を盗んだ。特にイラクは、大量破壊兵器というインチキの根拠による強奪だった。CIAの指導した「アラブの春」は、諸政府を転覆させて、もっと多くの領土を盗むという、この犯罪的企画をさらに大きく前進させた。参考：「**大統領研究指導書 - 11：アラブの春を通じて中東を破壊させた秘密計画**」 <http://themillenniumreport.com/2016/10/presidential-study->

イスラエル

例のように、アメリカの外交政策は、テルアビブのシオニストによって指令されている。中東では、最初にリクード党によって承認されなければ、何事も起こらない。ベンヤミン・ネタニアフ首相は、基本的に、米 - イスラエル二重市民、AIPAC からの侵入者、モサド要員、それに sayanim 志願者からなる、秘密のネットワークを通じて、トランプ政権をコントロールしている。トランプの女婿ジャレド・クシュナーでさえ、Chabad-Lubavitch 運動の真剣なメンバーであり、ネタニアフの親友でもある。

この知識があれば、なぜイスラエルが、ガス攻撃を自分で命令してやらせた直後に、シリアのホムズの空軍基地を、先に空爆したのかを、容易く理解できるだろう。このガス攻撃は、イスラエルがこの空軍基地の破壊を計画しているとして、シリアが行ったものだ、と彼らは主張した。それは、常にイスラエルがおびえて、恐怖を感じているように思わせたであろう。

「戦争は欺瞞を通じてやるものだ」――モサドのモットー

結論

この惑星の文明全体が、今、世界戦争の崖っぷちに立っている。

これほど多くの武力衝突の背後にいる“第一原動者”は、ネオコン・シオニスト陰謀団である。

彼らの何十年にも及ぶ、戦争犯罪とテロの狂宴を終わらせる方法は、ただ一つしかない。

協同陰謀者の一人ひとりが、即刻に拘束され、法の及ぶ限り十全に、告発・起訴されなければならない。

「ネオコン・シオニストは逮捕され、国家スポンサーによる、ニセ旗テロリズムという罪状をもって、裁判にかけられねばならない」

<http://stateofthenation2012.com/?p=35058>

彼らの一人ひとりが社会への脅威と判明した以上は、これ以外に、すべてのテロリストを米連邦政府から取り除く方法はない。この提案は真剣に受け取られねばならない——これらの犯罪的に異常なサイコパスたちが、完全にアメリカ共和国を破壊してしまう前に。

April 11, 2018

N.B. トランプ大統領は、現在、この必要な課題を遂行するのに無力である。それにかかわらず、家が崩壊する前にその大掃除をするのは、一人ひとりのアメリカ市民の市民的責任である。